

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年1月20日
江別市立大麻小学校

1. 本年度の重点目標

- ◎「すすんで取り組み、高め合う」大麻の子 ～伝え合い 認め合い 高め合い～
○自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子 ○自らの目標を持ち、最後までやりきる子
○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応） ○思いやりの心で自ら行動できる子

2. 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	①「すすんで取り組み、高め合う」大麻の子 ～伝え合い 認め合い 高め合い～ ○自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子 ○自ら目標を持ち、最後までやりきる子 ○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応） ○認め合い、思いやりの心で自ら行動できる子	A	「元気にはい」「進んではい」「最後までではい」をスローガンとして、お互いの気持ちや立場を理解すること、きまりや約束を守ることを意識しながら楽しく学校生活を過ごす児童の姿が見られた。係や委員会活動、行事において目標に向かい役割を果たそうとするなど、意欲的に活動する子どもたちの意識の高まりが前年度に引き続き感じられた。 しかし、自分の気持ちを話すことができたり他者への伝える力に相対的な課題が見られるので指導の不空・改善を図っていくことが必要である。学級経営・学力向上の全体計画に示されている具体策について、共通理解を図り、短いスパンでPDCAサイクルを回しながら課題解決に向けて取り組んでいく。	A	A
教育課程・学習指導	②教育課程を通して必要となる資質・能力の確実な育成 *学力向上、授業改革の推進 *指導体制の工夫、学習環境の充実	A	子どもたちが教わる授業から、子ども一人一人の学びの保障を行う授業改革を行ってきた。ICT機器の効果的な活用と対話を重視した授業実践を通して、子どもを中心に置いた学習を積み重ねてきた。児童の実態と分析をもとに指導の重点化を図り、計画的な指導を行っている。学習サポート教員やボランティアの協力と専門性を生かした算数専科の授業により、「より分かる」授業を展開し、学力向上を進めている。 家庭科学習の定着に向けて、家庭学習の手引きを活用しながら粘り強く家庭と連携していく。	A	A
生徒指導	③「安全」「安心」の学校づくりの確立 *学校いじめ防止基本方針に基づく取組 *不登校児童への対応等の支援体制 *互いを認め、高め合う人間関係づくり	B	いじめの対応では、昨年度の反省を受け、複数の目による児童の見守りや相談ポストの設置など心のケアに努める体制をとった。情報の共有化を図り、組織的に迅速な対応を図ることを徹底していくことにより最善の解決に向けた取組を行っている。児童会では、「おもいやり集会」で思いやり標語を作成し意識したり「挨拶運動」で他者と関わる機会作りをしたりと児童が主体となって取り組むことができた。課題を抱える児童や保護者には、今後も教育相談や関係機関と連携していく。	A	A

小中一貫教育	④小中一貫教育の充実・発展による「目指す子ども像」の実現 *小中一貫教育による義務教育9年間を見据えた指導 *大麻スタンダードによる学習・生活規律等の連続性の確立	A	目指す子ども像「ともに支え合い夢や可能性に向かってたくましく生きる子ども」の実現に向け、組織的に連携しながら小中一貫教育を進めてきた。体験活動や乗り入れ授業の推進や大麻スタンダード（学習・生活）の取組を進めた。来年度に向けてスタンダードの見直しを行い、さらに焦点化し充実した取組を推進していく。今後も、中学校区4校で連携し、系統的で組織的な取組を推進していく。	A	A
その他	⑤健康でたくましい心身づくりの推進 *基本的生活習慣の定着 *体力向上の取組 *性教育の系統的指導	A	運動会では、例年と同じく全校よさこいを取り入れ、異学年での学び合いのよさを生かしながら活動をすすめてきた。縄跳びの取組では、個々の目標を明確にし、個別に鍛錬することで体力向上を目指した。また、学級の絆を深める意味でも効果があった長縄大会を実施した。仲間と切磋琢磨し記録の更新を目指した。大会は参観日に合わせたため、多くの保護者の応援の中、実りある実施となった。今後も日常的な体力向上を目指し、活動を工夫していく。 包括的性教育を全学年で行った。性教育週間を実施し、学校全体で意識した教育を行った。ゲストティーチャーを招き、専門的知識を得る場面もあった。	A	A
	⑥地域との連携・協働の推進と情報発信の充実 *保護者や地域との連携促進 *情報提供・発信の充実	B	通学路の安全確保、気象状況に関わる対応や日常的な情報発信など、児童の安全・安心を最優先に、保護者や地域、関係機関との連絡調整を図ってきた。不審者対応などによる引き渡し下校など喫緊の課題に対し、校内組織を機動的に活用し、対応することができた。また、定例の職員会議でミニ研修を行い、教職員の今日的課題について研修を行うなど、資質能力の向上に努めることができた。日常的に必要な情報については、職員員向けの通信を発行し、周知徹底を図った。今後も適切な情報収集とともに教育課程の進行管理や教育目標の達成のために、組織的な対応のさらなる充実を図っていく。	A	A

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない

学校運営委員より意見拝聴

分野	評価項目	意見等
経営方針の重点	①「すすんで取り組み、高め合う」大麻の子～伝え合い 認め合い 高め合い～ ○自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子 ○自ら目標を持ち、最後までやりきる子 ○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応） ○認め合い、思いやりの心で自ら行動できる子	・誰にでも進んで挨拶ができる児童が目立つ。 ・学校全体で経営方針の重点を推進していくために、年度当初から意識して取り組んでいく必要がある。
教育課程学習指導	②教育課程を通して必要となる資質・能力の確実な育成 ＊学力向上、授業改革の推進 ＊指導体制の工夫、学習環境の充実	・算数専科や少人数指導、TT 指導、指導方法の工夫が見られ、きめ細かい指導が実践されていると思う。 ・ICT 機器、タブレットを活用した授業の工夫を学校全体で取り組んでいる。 ・自分の考えを素直に自分の言葉で言える子が多い ・対話を重視した授業展開はこれからも続け、深化させてほしい。
生徒指導	③「安全」「安心」の学校づくりの確立 ＊学校いじめ防止基本方針に基づく取組 ＊不登校児童への対応等の支援体制 ＊互いを認め、高め合う人間関係づくり	・子どもが安心して学校生活を送ることができるよう人間関係をきずいていってほしい。 ・子どもに寄り添った関りを重視し、安心安全な環境づくりを行ってほしい。
小中一貫教育	④小中一貫教育の充実・発展による「目指す子ども像」の実現 ＊小中一貫教育による義務教育 9 年間を見据えた指導 ＊大麻スタンダードによる学習・生活規律等の連続性の確立	・大麻スタンダードを実施することで中学校にもスムーズに移行できる。 ・系統的な指導を行い、充実した学校生活を送ってほしい。
その他	⑤健康でたくましい心身づくりの推進 ＊基本的生活習慣の定着 ＊体力向上の取組 ＊性教育の系統的指導	・日々の体力づくり・柔軟性を養う運動で成果が上がっていると思うので、継続してほしい。 ・包括的性教育の実践は素晴らしい。様々な考えを尊重した教育を継続してほしい。
	⑥地域との連携・協働の推進と情報発信の充実 ＊保護者や地域との連携促進 ＊情報提供・発信の充実	・ホームページの活用を活性化し、さらに地域に発信してほしい。 ・teroru の活用は情報の伝達が早かったり、アンケートをとりやすかったりと利便性が十分に生かしている。
【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校運営委員の評価意見】 ・自己評価は妥当に行われており、改善策についても適切である。 ・学校を取り巻く課題が多く、日々の学校生活をよりよくしたいという教員の意識と実践に感謝したい。子どもたちも大変素直な子が多く、自分らしさを活かして学んでいる姿が見られる。 ・働き方改革を進め、先生方が心身健康に過ごすことで子どもたちのより良い環境が作られていくと思う		